

# 郷土の宝「さくら」を次の世代へ さくらのまちづくり

問合せ さくら課 内線 591

## さくらのまちの原点

日立市は、1905年（明治38年）日立鉾山の創業により鉾工業都市として発展しましたが、その一方で、鉾山から排出される煙により農作物や木々に煙害がもたらされました。

日立鉾山は、煙害対策として、当時世界一の大煙突（高さ155.7m）を建設するとともに、木々が枯れてしまった山々に、地域住民と力を合わせ、煙害に強いオオシマザクラなどを植林し、自然環境回復への地道な努力を重ねました。



大煙突付近に咲くオオシマザクラ

さらには、その苗木を育てる技術を活用して、

住宅や学校、道路沿いなどにソメイヨシノを約2000本植えました。

これが、日立市の春を彩る桜の原点となり、今もなお、シンボルとして引き継がれています。

## 多くの方に愛される桜

毎年4月には、「日立さくらまつり」が開かれます。平和通りでは、約1kmにわたり桜のトンネルが続ぎ、市民や多くの観光客を笑顔にする、日立市の貴重な財産となっています。

平成2年には、かみね公園・平和通りが日本の特色ある優れた「さくら名所100選」に認定されました。

また、公園や学校、企業、民地などに植えられた市内の桜は約1万4000本（\*）。春になると市内さまざまなお場所を彩り、市民にとって欠かせない春の風物詩となっています。

\*平成7年に市民団体が調査

## 日立市で見られる桜の 主な品種をご紹介します！



ひたち雅（日立市固有品種）

優美で華やかな品位を感じさせる花が4月中旬に開花。池の川さくらアリーナなどで見られる。



おぎつやよい（日立市固有品種）

苗の発見場所と3月に開花することから命名。日高交流センターなどで見られる。



日立紅寒桜（日立市固有品種）

開花が1月中旬、見頃は3月上旬と一足早い春の訪れを告げる（品種登録名：日立紅寒）。

# 歴史ある桜が衰弱

多くの方に愛される日立市の桜ですが、かみね公園や平和通りなどは、植えられてから70年以上が経過し、樹勢の衰えが見られるようになってきました。そのため、市内の桜の

現状を把握することを目的に、令和元年度から樹木の専門家による市有施設の桜の実態調査を行いました。その結果、調査した桜の約52%は元気がなく、約27%が木を衰退させ、

やがて枯死につながる伝染病「テングス病」にかかっていることが判明しました。

しい桜を守り、次の世代に引き継いでいくためには、市民や企業の皆さんと協力し、さまざまなさくらのまちづくりの取組を進めていく必要があります。

桜が美しく咲くのは当たり前前と思わず、歴史ある桜を大切な財産として、市の誇りである桜と一緒に守り、次の世代に繋いでいきましょう。



大きな空洞ができてしまった桜



テングス病にかかった桜

テングス病は、枝先がほうき状になり花が咲かず衰退し、やがて枯死につながる伝染病です。



令和元年度から約7,600本の市内の桜の実態調査を実施。衝撃の結果に。

### 【調査結果】

活力度	点検結果		テングス病にり病	
	本数	割合	本数	割合
良好	865本	11.4%	2,071本	27.2%
おおむね良好	2,757本	36.3%		
やや不良	3,790本	49.8%		
不良	192本	2.5%		
合計	7,604本	100%		

また、木の内部が腐っていたり、空洞が存在し、倒木の危険が高まっているものがあるなど、桜の保護・更新が課題として浮かび上がってきました。市のシンボルである美



平和通りの桜並木。昔と比較し、桜のボリュームが寂しくなりました。



ギョイコウ(御衣黄)

黄緑色の花が4月中旬に開花する八重桜。かみね公園などで見られる。



ソメイヨシノ

市内に最も多く植えられている桜。4月上旬に日立市の春を淡紅色に染める。



オオシマザクラ

4月上旬に咲く「さくらのまち日立」の原点である桜。鞍掛山や神峰山に多く植えられている。

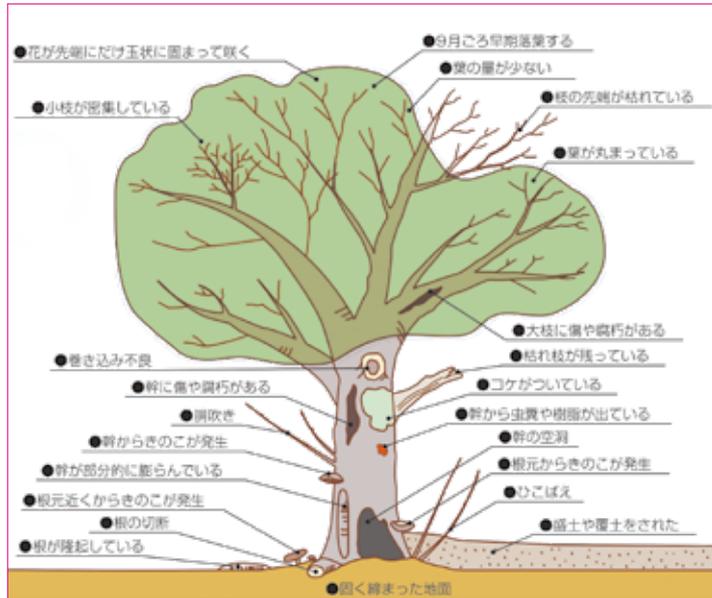
## 桜を守るための第一歩

### - 樹勢回復より予防が大切 -

桜を健全に育てるには、今の状態を知り、必要な対策を施すことが大切です。

桜は樹齢や育っている場所の環境、管理の状況などにより花の咲き方や枝葉の伸び、幹の状態が変わります。

まずは、桜がどのような生育状況であるのかを観察してみてください。



次の状態は桜に何らかの異常がある証拠です  
桜の状態を観察しよう！

## 未来の子どもたちに「さくらのまち日立」を繋ぐ

### さくらのまちづくりの取組を一部ご紹介します



①②さくら教室：小学生に日立市の桜の歴史や特性などを伝え、桜について学ぶことで、郷土の宝である桜を大切にすることを育む  
③④桜の名所「かみね公園・平和通り」の桜を計画的に更新  
⑤⑥次の世代に美しい桜を繋いでいくため、「鞍掛山」や「かみね公園」などの整備活動を実施



かみね公園の頂上駐車場

震災の復興などを祈念して平成24年に植樹した「日立紅寒桜」が見事に生長し、毎年美しい花を咲かせる。



かみね公園

開花時期が異なるさまざまな桜があり、1月中旬から5月上旬まで長い期間、花を楽しむことができる。



平和通り

約120本のソメイヨシノが作り上げる「さくらのトンネル」は、日立の美しい自然景観の中でも圧巻。

日立市を代表する桜の名所をご紹介します！

# [interview] 日立市さくらのまちづくりの第一線

## まちづくりは市民が主役

私が茨城大学の教員として日立市に赴任した時、街中の桜が満開で、輝きに満ちた魅力的な街だと感じました。そんな日立市が「桜」をキーワードとしたまちづくりを進めることを聞き、協力したいと思いい「日立市さくらのまちづくり推進市民会議」に参加しました。

桜は、日立市の貴重な風土の要素であり、まちづくりに欠かせないものだと思います。会議での議論や取組がきっかけとなって、風土の一つである「桜」を大切に、まちの活性化につながることを願っています。

まちづくりの主役は市民です。市民の桜への想いや、まちづくりへの積極的な参加が不可欠です。そのような機運が高まることを期待しています。



日立市さくらのまちづくり推進市民会議

小柳武和 会長  
(茨城大学名誉教授)

## 桜を次の世代に繋ぐために、市民の協力が必要不可欠

### 多くの方々と力を合わせ桜を守る

春になると市内の桜は、まちを美しいさくら色に染めてくれます。

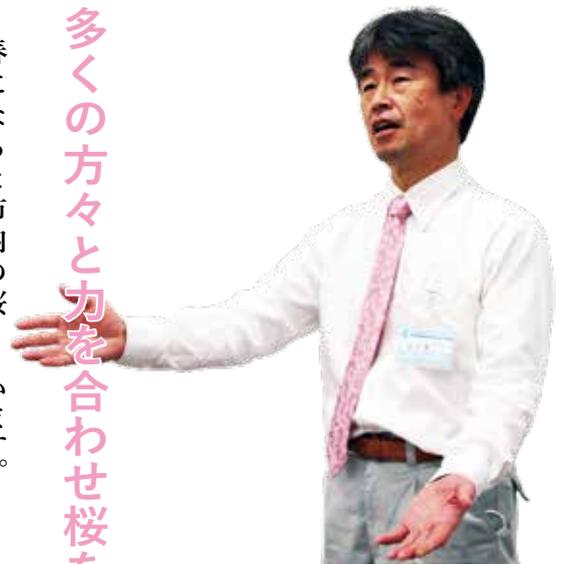
しかし、植樹から長い年月が経ち、また病気などの原因により、以前ほど元気な桜が見られなくなってきました。

先人たちは、自然環境の回復を目指して山々に、また、住みやすく良いまちにしていくと市街地に桜を植え、それらの桜を守り育ててきました。その想いを大切に、次の世代に桜を引き継いでいくことがさくら課の役割であると考えています。

います。

そのために、日立市さくらのまちづくり推進市民会議をはじめ、各種団体やコミュニティ、学校、企業など、多くの方々との協力しながら、桜を守る取組を進めています。

100年前の桜の物語を次の100年に引き継ぎ、いつまでも日立市が美しい桜の咲き誇るまちであり続けるために、多くの方々にはさくらのまちづくり活動に参加していただけることを願っています。



さくら課  
湯田健一 課長

### その他、日立市の桜に関するおすすめ情報はこちら

#### 行政情報番組

さくらのまちづくりの番組を制作中!



3月26日頃  
公開予定!

市報で紹介できなかった内容など盛りだくさん!

#### ひたち風 HP

「日立のさくら」の名所を紹介!



おすすめ花見スポットを多く紹介しています!



鞍掛山

日立市の桜のルーツであるオオシマザクラなど、約520本の桜が生育している。



十王パノラマ公園

カンヒザクラやフゲンゾウなど35種約400本の桜の花が、3月中旬から5月上旬まで楽しめる。